

わがまちみらいマネジメント講座

伝わるチラシの作り方 実施報告書

- 1 日 時 令和元年 8 月 20 日（火）18 時 30 分～20 時 30 分
- 2 会 場 アマランス研修室 1・2（長崎市魚の町 1-5 市民会館 1 階）
- 3 講 師 中村 圭太氏
（PRISM! 代表）
- 4 開催目的 地域活動のリーダー等を対象として、地域活動における運営能力の向上や地域活性化に効果的な手法の習得を目指す
- 5 テー マ 地域でのイベントや活動を PR するチラシの作り方を学ぶ
- 6 参加者 37 名
- 7 実施内容

○講師紹介

PRISM! 代表 中村 圭太さん

長崎生まれ長崎育ちで、県内の広告制作会社を数社勤務したのち、2010 年 11 月にデザイン事務所の「PRISM!」を立ち上げ、フリーランスでの活動を始めました。現在は、グラフィックデザインをもとに老舗和菓子店や地域のブランディング、スタートアップ企業のフォローなどを行っています。



○はじめに

中村さんがこれまで作成した、地域イベントのチラシを紹介してもらいました。

- ・ 琴海トマパラフェスタ
- ・ 琴海四季彩館まつり いなカフェ
- ・ なみのひら のうりょうなつま祭り

○チラシ作りのポイント解説

色々なパターンのチラシを見比べたりしながら、チラシ作りのポイントを学びました。

① 目的を明確化させる

- ・「誰に？」サービスを提供して喜んでくれそうな人を設定する
- ・「何を？」提供できる他にはないサービスを明確にする
- ・「どうなってほしい？」サービスを提供して、お客様にどうなってほしいのか明確にする

② チラシの構成要素

ロゴマーク、タイトル（13文字以内）、日時・場所
イメージ、サブイメージ（メインのイメージを補完するもの）
オファー（お客様へ提供できる「お得な約束」）
キャッチコピー、サブコピー
レスポンスデバイス

③ チラシの色

- ・原則メイン・サブの2色、多くても3色までに
- ・訴えたいことや物を表現する色をメインに
- ・補色にならないようにする（例：緑とオレンジ）
- ・見づらいうようならトーンを調整する
- ・インパクトと上品さのバランスを意識する

④ チラシの書体

タイトル以外は読みやすい書体にする。

⑤ チラシのレイアウト

「Zライン」…目の動きが、横書きなら左上から右上、そして真ん中を経て左下から右下へと動くレイアウトにする。



○ワークショップ

座学で学んだことを活かして、中村さんにアドバイスをもらいながらチラシのイメージを作成しました。

① まずは目的を明確化する

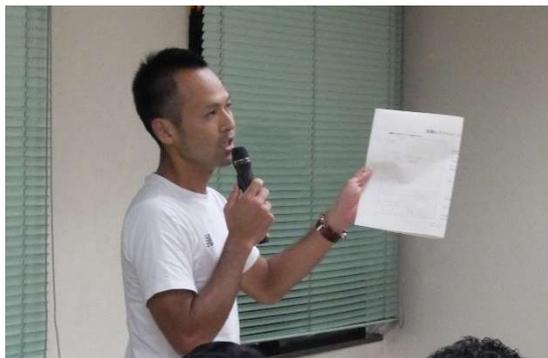
「誰に?」「何を?」「どうなってほしい?」の3つの目的を考え、明確にしてみました。

② 実際にラフイメージを書いてみよう

チラシの構成要素を考え、実際にラフイメージを書いてみました。餅つき大会やお花見、ペーロン大会などいろいろなイベントのチラシができました。

③ 発表

書いたラフイメージを発表し、中村さんからアドバイスをもらいました。



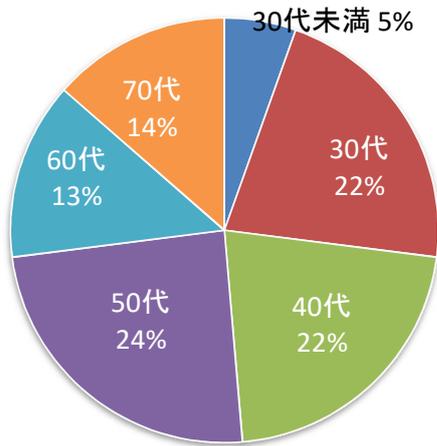
8 アンケート結果

別紙「アンケート結果」参照

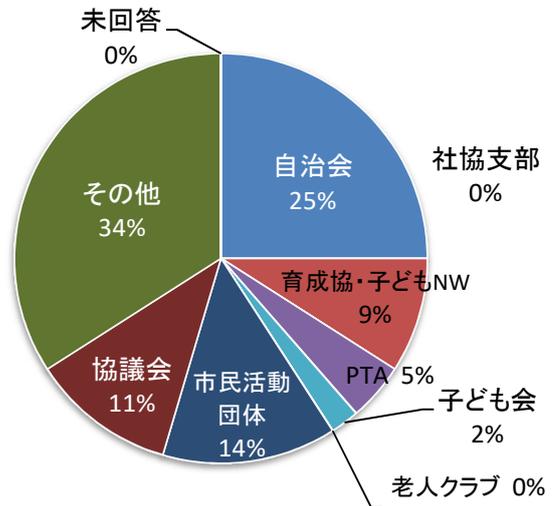
わがまちみらいマネジメント講座 令和元年8月20日開催「伝わるチラシの作り方」アンケート結果

回答者37人（参加者37人）

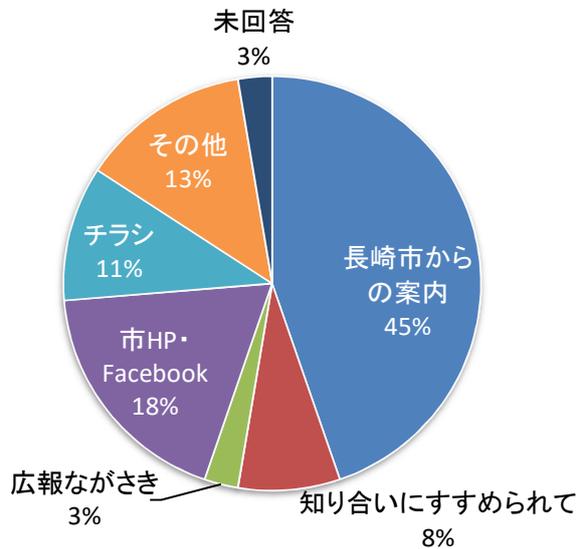
参加者 年代比率



参加者 団体比率

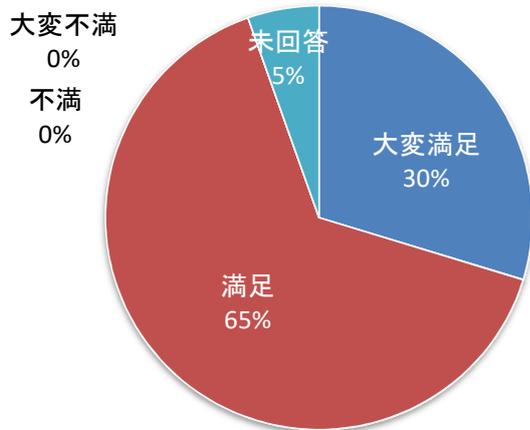


1 本日はどのようなきっかけでご来場されましたか？（複数可）

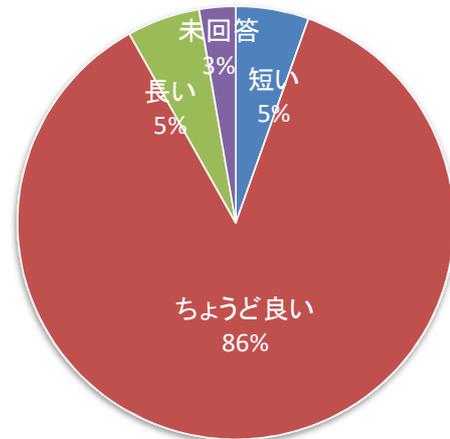


2 本日の講座の評価について、当てはまるものを選んでください。

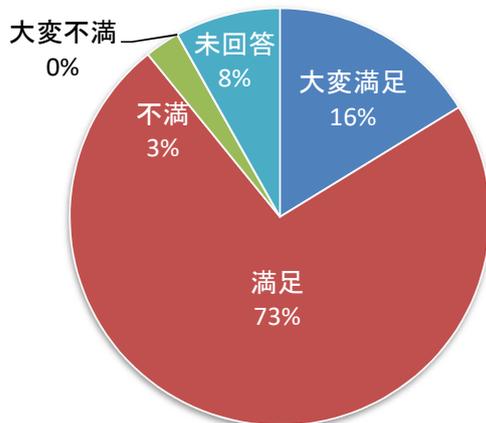
(1) 講座内容について



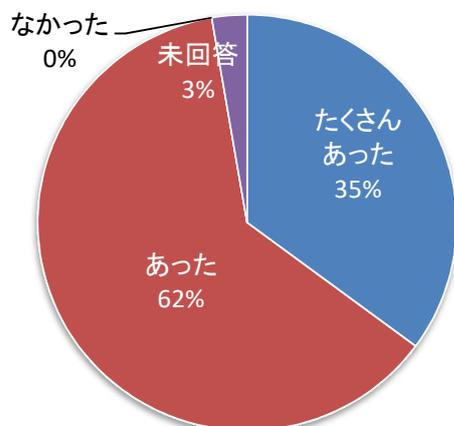
(2) 時間配分について



(3) 全体的に



3 新たな発見や活動の参考になることはありましたか？



3 新たな発見や活動の参考になったこと（自由記述）

内容
レイアウトの基本がわかりました
ポイントが明確にしてあり、原案(ラフ)作成のイメージがしやすかった
配色や13文字のこと、いろいろ勉強になりました。ありがとうございました。
プロがどのようなことに気をつけて作成しているのかポイントを学べた。
チラシを書こうと思っていた所、この企画に参加して書き方がなんとかわかった様でうれしく思っています。
広報というものに対して、相手にどういうイメージを与えるかを考える一助となった。
チラシのレイアウト、ルールづくりなどこれからのチラシ作成の基礎になるものが学べました。
チラシのルールが勉強になった
チラシを構成するポイント(目的を明確化すること)
自分たちが作っているチラシのよくないところ、改善ポイントが少しわかった。
チラシづくりに関して全くスキルがなく、全てが参考にはありませんでした
チラシの書き方・つかみ所・どのように作ったらよいか など、勉強になった
チラシの構成要素や色の使い方など参考になりました。
目的の明確化
チラシづくりのイメージの作り方やレイアウトのやり方など具体的に学ぶことが出来ました。
チラシ作りの基本が分かった 特に色使いが参考になった
ポイント、ポイントの大事な事、人を引きつけ感じさせる事、デザインが出来る。
シリーズ化するという視点
配色について2色多くとも3色までということは参考になった。色は多い方がいいと思ってました
チラシを通して伝えるべきこと、必要なことを整理できた。
人の目の動き”Zライン” タイトル文字数”13文字”
色の使い方やレイアウトなど勉強になりました。

内容
実際にどのようにチラシを作れば良いか、具体的に理解出来た。
全体像の作り方がとてもわかりやすかったです！
レイアウト、色の使い方、タイトルの作り方、チラシのイメージ
実際のチラシをたくさん見れたので良かった
構成要素の説明が大変役に立った
レイアウトが勉強になりました！ありがとうございました。
チラシの構成・色・レイアウト等まったく知らなかったので勉強になりました
プロのデザイナーの方がつくるチラシについてどのようなことを考えながら作っているのか話を聞けて良かった
チラシを作るうえで目的を明確化することの大切さ
ルールを設定してレイアウトを考えること 色使いの効果
チラシ作成に当たっての具体的な指導で、即役立たせることが出来る!!

4 今後学んでみたいこと（自由記述）

内容
会員の皆様が関心を持つ催し事とか内容について勉強したい
イベントの集客の仕方、告知の方法等を学んでみたいです。
イベント物ではなく、日常的に取り組む施策をどう考えて行くか！ 日常生活に密着した活動を住民と共同でやって行くようなものが欲しい。
企画づくりこうざ、アイデアの出し方、クリエイターとの交流
チラシづくりPart2もお願いしたいです
ファシリテーターやコーディネーターなどの役割の勉強もしてみたい。
チラシ作り 地域コミュニティの構築は？
町名のない地域がどうすれば町みたいなふんいきにできるか？
不足している事ばかりで1つ1つが勉強でした
自分で自由にチラシが作れるように学んでみたい
他地区の具体的な取り組み事例 施設利用(工夫)事例
市内にいるいろいろな能力を持っている人々と繋がっていきたい
自治会と地場事業者とのつながりの効果事例
自分の地域にどのようにインバウンドを得ることができるか？
地域コミュニティを作っていくにあたり、協力的な人のあつめ方など SNSでの発信のしかた
地域の見守り、声かけ運動について
コミュニケーションのとり方など
活動をしている人と知り合う機会が欲しい

5 その他、ご意見・ご要望、感想など（自由記述）

内容
とてもすばらしい講座でした。ありがとうございました。 他のいろんな講座にも参加してみたいです。
スクリーンが少し暗かったのか？文字が読みづらかった。 パワーポイントの文字が小さくて見えなかったのが残念でした。 このような講座を無料で聴講できるのはとてもありがたかったです。 ※持参物 筆記用具を表記していただけるとありがたいかと…
実際にデザインをするのにパソコンなどを利用した講習を希望する。
プロジェクターが見えづらかった(人の頭で) 文字も小さかった。 ラフイメージの作成よりもっとデザインのやり方などプロの仕事のやり方をおしえてほしかった。印刷する所やデータのやり方等
色んな研修会をどんどんやってほしい
ながさきに町あるのかな、丁目番号では？ 町づくり？気になる。使うなら街かも 町がとれて町がなくなった。60年位前に法ができた？気がする
色々な事項を学ぶチャンスをつかみたい
作ったチラシの指導をしていただく機会があったら良い
大変参考になりました。ありがとう！
今日は大変勉強になりました。ありがとうございました。
ありがとうございました。
地域コミュニティ協議会立ち上げの話を定期的に地域でして欲しいです
参加者同士の交流時間が少しでもあると良かった
個人的には年賀状などにも活用したいと思います
現在自治会長に全てまかせっきりの作業を少しでも手伝えるように自分でも勉強していきたいです

内容
貴重な講座をありがとうございました
大変良い講座、有難うございました